

山口学研究センタープロジェクトの進捗状況について

山口学研究センターは、私たちの住む山口県の自然、歴史、産業、観光、流通、教育等に関する研究を推進するとともに、その成果を活用し、地方創生や地域社会の課題解決や活性化に寄与することを目的として、平成27年12月に設置しました。

現在、地域の持つ魅力を再発見し、地域が抱える課題の解決等、地方創生や地域活性化の取り組みにつなげて行くことを目的として、文理融合の視点を重視した5つの研究プロジェクトに取り組んでいるところです。

本日の会見では、研究プロジェクトの一つである、人文学部の田中晋作教授が研究代表として取り組んでいる「古代テクノポリス山口ーその解明と地域資産創出を目指してー」について、現在の進捗状況や今後の取り組み等をご報告します。

【古代テクノポリス山口ーその解明と地域資産創出を目指してー】

人文学部の田中晋作教授が研究代表として、山口市教育委員会（文化財保護課）と共同で、本年8月28日から国史跡周防鑄銭司跡の発掘調査に着手し、現在継続中です。

今回の調査では、1965年度および1971年度に実施された調査内容の確認、史跡内の遺構の分布状況や残存状況の把握等のために、530㎡を対象にして実施しています。これにあわせ、これまで行われてこなかった、銅、鉛等の採集地の同定を目的として鑄造関連資料（埴埦・鞆羽口）から金属試料を採取し、分析に着手（山口大学今岡教授, 国立歴史民俗博物館 斎藤務教授）しています。

また、既存発掘調査区の一部拡張によって、新たに、約20㎡、深さ20cmの範囲で、コンテナ（55cm×35cm×15cm）約50箱分という、多量の鑄造関連資料（埴埦・鞆羽口）等が出土し、大規模な鑄造活動が長期間にわたって行われていたことを裏付ける資料となりました。

発掘調査終了後、地方総合大学の強みを最大限に活用し、引き続き、下記のとおり、出土資料等の整理・分析をとおして、各研究者との共同研究の範囲を広げていく予定です。

なお、調査期間中、学生の調査実習以外に、陶小学校：発掘体験、大内中学校：職場体験の場としても活用していただくことができました。

今回の調査は、地域（鑄銭司・陶地域のみなさん、積水ハウス株式会社山口工場等）・行政（山口市教育委員会、文化庁、山口県教育庁、山口市ふるさと創生部創生推進課、鑄銭司・陶地域交流センター、鑄銭司郷土館等）・大学が共働することによってはじめて実現できたことです。山口学研究センターでは、本プロジェクトを学術調査・研究の範囲にとどめるのではなく、学生教育の場と

して、さらに地域や行政との連携を深めていくひとつのツールとして位置づけ、大学が地域に対して何ができるのかを問うケーススタディーにしていくことができると念願しています。

- 1 大量に出土した埴埜・鞆羽口および須恵器の原材料（粘土）採集地を特定するために、胎土分析に着手予定（山口市教育委員会, 岡山理科大学生物地球学部 白石純教授）。
- 2 花粉分析によって周防鑄銭司跡周辺の植生の復元および変遷を明らかにするために、試料を採集、分析に着手（楮原講師, 鹿児島大学法文学部 吉田明弘准教授）。
- 3 当時の地形、環境を復元するために、発掘調査地内の土壌の堆積状況の調査を実施（楮原講師）
- 4 地下遺構や遺物の状況を把握するために、レーザー等使用した地中探査を実施することとし、今回の調査内容を踏まえ探査地域の設定等について計画を策定中（田中晋作教授, 岡山理科大学地球環境科学部 亀田修一教授・同情報処理センター 畠山唯達准教授）。

山口学研究センター（古代テクノポリス山口 -その解明と地域資産創出を目指して） 研究体制

氏名	所属部局（専攻等）・職名	専門・学位
田中 晋作	人文学部（歴史学講座） 教授	日本考古学 博士（文学）
橋本 義則	人文学部（歴史学講座） 教授	日本古代史 博士（文学）
村田 裕一	人文学部（歴史学講座） 准教授	日本考古学 文学修士
矢部 真吾	人文学部（社会学講座） 准教授	民俗学 博士（社会学）
五島 淑子	教育学部（家政教育講座） 教授	食物学 博士（学術）
楮原 京子	教育学部（社会科教育講座） 講師	自然地理学 博士（理学）
今岡 照喜	創成科学研究科（地球科学分野） 教授	地質学・岩石学 博士（理学）
坂口 有人	創成科学研究科（地球科学分野） 教授	構造地質学 博士（理学）
山本 晴彦	農学部（生物資源環境科学科） 教授	津波・液化化痕跡 気象防災学 博士（農学）
齊藤 大輔	人文学部 学術研究員	日本考古学 文学修士

磯部 貴文	山口市教育委員会 文化財保護課 課長	日本考古学 文学士
増野 晋次	山口市教育委員会 文化財保護課 主幹	日本考古学 文学士
青島 啓	山口市教育委員会 文化財保護課 副主幹	日本考古学 文学士
河崎 萌	山口市教育委員会 文化財保護課 主任主事	日本考古学 文学修士

氏名	所属機関等・職名	専門・学位	参考
齋藤 務	国立歴史民俗博物館 教授	文化財科学 博士（理学）	鉛同位体比分析 ・自然科学分析
林部 均	国立歴史民俗博物館 教授	日本考古学 博士（文学）	国家体制成立状況
坂本 稔	国立歴史民俗博物館 教授	文化財科学 博士（理学）	年代測定 ・自然科学分析
高田 貫太	国立歴史民俗博物館 准教授	考古学・日朝関係史 博士（文学）	古墳時代日朝交流史
荒木 和憲	国立歴史民俗博物館 准教授	日本中世史 博士（文学）	中世日朝交流史
成瀬 正和	東北芸術工科大学 客員教授	文化財化学 芸術学修士	成分分析 ・自然科学分析
古尾谷知浩	名古屋大学人文学研究科 教授	日本古代史 博士（文学）	古代銅生産
高橋 照彦	大阪大学文学研究科 教授	日本考古学 博士（文学）	古代鉛釉・鑄造史
竹内 亮	奈良大学文学研究科 研究員	日本古代史 博士（文学）	日本採銅事業
亀田 修一	岡山理科大学地球環境科学部 教授	東アジア考古学 博士（農学）	古墳時代日朝交流史
澤田 秀美	くらしき作陽大学音楽学部 准教授	日本考古学 文学修士	古代国家形成史
今岡 照喜	山口大学理工学研究科 教授	地質学・岩石学 博士（理学）	自然科学分析
田中 晋作	山口大学人文学部 教授	日本考古学 博士（文学）	青銅関係遺跡研究
鄭 淵中	韓国国立基礎科学研究院 研究員	—	自然科学分析（韓国）

亀田 修一	岡山理科大学地球環境科学部 教授	東アジア考古学 博士（農学）	古墳時代日朝交流史
島山 唯達	岡山理科大学情報処理センター 准教授	地球物理学 博士（理学）	地中電磁探査

白石 純	岡山理科大学生物地球学部 教授	考古理化学 博士（理学）	胎土分析
------	--------------------	-----------------	------

吉田 明弘	鹿児島大学法文学部 准教授	自然地理学 博士（理学）	花粉分析
-------	------------------	-----------------	------